

# 第1回 定例会

(2月18日～3月30日)

# 令和2年度の予算などについて 審議しました

令和2年第1回定例会では、令和2年度予算に関わる議案や札幌市証明等手数料条例の一部を改正する条例案などの議案57件、諮問1件、意見書5件が全会一致または賛成多数で可決されました。

## 令和2年度予算の概要

令和2年度の一般会計予算は、「アクションプラン2019」に掲げる取り組みについてスピード感をもって予算計上したことにより、前年度に比べ0.7%増の1兆295億円を計上し、予算規模が過去最大となりました。

なお、特別会計・企業会計を加えた全会計では、前年度に比べ1.2%増の1兆6,709億円を計上しています。

### 予算の主な使い道

#### 1 暮らし・コミュニティ

- 私立保育園などの施設整備の補助
- 子ども医療助成制度の対象拡大

#### 2 産業・活力

- 定山溪地区の魅力アップ事業
- 本社機能の移転をはじめとした企業の立地などを促進

#### 3 低炭素社会・エネルギー転換

- 札幌駅地下歩行空間の熱導管の整備

#### 4 戦略を支える都市空間

- 札幌ドームの多様な活用に向けた改修設計

### 令和2年度の予算規模

(単位：億円)

区分	令和2年度	令和元年度	増減率
一般会計	10,295	10,227	0.7%
特別会計	3,713	3,636	2.1%
企業会計	2,701	2,655	1.7%
合計	16,709	16,518	1.2%

### 一般会計の歳入・歳出内訳

(単位：億円)



## 可決された主な議案 ～ 補正予算案と条例案 ～

### 令和元年度の補正予算案

以下の経費など、全会計総額219億449万円を増額する補正予算が可決されました。

- 学校施設や道路・橋りょうなどの整備費用
- 小中学校におけるタブレット端末の整備費用
- 生活保護の医療扶助費などの追加
- 北海道新幹線の建設に係る負担金の追加

### 条例案

札幌市証明等手数料条例の一部を改正する条例案

医薬品配置従事者の身分証明書に関する手数料を改定するほか、個人番号通知カードが廃止されることに伴い、その再交付に関する手数料を廃止するなどのものです。

その他の議案および議決結果は、9ページに掲載しています。

### 意見書

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、市議会の意思を決定し、国会や政府に提出するものです。

## 新型コロナウイルス感染症の早期終息 に向けた対策の強化を求める意見書

国会および政府に対し、以下の事項に全力で取り組むよう強く要望するものです。

- ①国内における感染拡大の防止に向けて、マスクなどの必要な物資の円滑な供給体制の構築を支援し、感染者の人権への十分な配慮のもと健康管理を行うとともに、自宅療養、隔離、治療について十分な対策を実施し、地域の状況に応じて、患者クラスター（集団）への対応を継続、強化すること。
- ②患者の増加に備えた入院、治療体制整備のための支援を行うとともに、窓口相談体制や検査実施などの強化を進めることに加えて、院内感染対策のさらなる徹底や感染制御に必要な物品の確保を図ること。
- ③感染症の早期終息に向けて、WHOなど国際機関との連携協力のもと、ワクチンなどの研究開発を促進するため、必要な予算を柔軟に配分し、併せて、予防・診断・治療法の開発につながる技術の確立を図ること。
- ④観光業などにおける風評被害対策に万全の対策を講じるとともに、中小企業への経済的影響を十分考慮し、緊急の資金融資などの経済対策を実施すること。
- ⑤国際的な感染動向や国内の感染症に関する情報を正確かつ迅速に収集し、国民や地方自治体へ必要な情報提供を的確に行うとともに、サーベイランス（発生動向調査）の仕組みを整備すること。

## 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

中高年のひきこもりが、大きな社会問題となっている現状を踏まえ、政府に対し、以下の事項に全力で取り組むよう強く要望するものです。

- ①自立相談支援の機能を強化するため、自立相談支援機関の窓口アウトリーチ支援員（仮称）を配置し、初期のつながりの確保から自立までの一貫した支援を行うこと。また、そのための財政支援の仕組みを創設すること。
- ②中高年のひきこもりに適した支援の充実を図るため、中高年が参加しやすくなるような居場所づくりや多様な社会参加の場を確保すること。加えて、家族に対する相談などの取り組みを促進するとともに、専用相談窓口の設置を支援すること。
- ③地域共生社会の実現に向けて、「8050問題」など世帯の複合的なニーズやライフステージの変化に柔軟に対応できるよう、「断らない相談支援」や社会とのつながりをつなぎ戻していく「伴走型支援」を実施するとともに、各種支援機関が連携をさらに深め、一体的かつ包括的な実施に向けた検討を加速化させること。

意見書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。